

# つくばアグリつうしん かわら版

2026年 8月26日

TEL :029-836-1109

FAX :029-836-1816

E-mail:tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp

発行元:県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

HPIはこちらからアクセス>>>



## 水稻現地検討会開催！（高温対策、畦畔雑草防除）

令和8年7月31日、普及センターでは「『にじのきらめき』高温対策のための実肥(耐暑肥)及び茎葉兼土壌処理剤による水田畦畔雑草抑制実証現地検討会」を開催しました。

高温障害等により、令和7年度の茨城県産のコシヒカリの1等米比率は50%以下と低い水準になりました。本現地検討会では対策技術として、高温耐性品種「にじのきらめき」の実証栽培の様子を紹介したほか、実肥(耐暑肥)及び、畦畔除草(斑点米カメムシ類対策)について普及センターと農薬メーカーから現地情報を含めて紹介しました。

生産者からは実肥(耐暑肥)、カメムシ防除、畦畔除草のタイミングについて質問が挙がり、高温対策技術への関心が伺われました。今後も普及センターでは、水稻の1等米比率の向上に向けた高温対策技術の推進を行っていきます。



右側下の写真は、左が雑草抑制実証区、右が無防除区▶

## サツマイモ基腐病が疑われたら、すぐ普及センターに連絡を！



サツマイモ基腐病は、株が枯れたり、いもが腐敗するなど収穫量が大幅に減少する病害で、病原菌に汚染された土や苗などから感染していきます。

この病害は収穫量が大幅に減少するため、サツマイモの大産地である本県では「まん延防止に関する遵守事項」を定め、家庭菜園も含めて対策を徹底しています。昨年秋に、茨城県内で発生が確認された際は、大規模な防除対策が行われたところです。

対策は、①持ち込まない、②増やさない、③残さないが基本。

### ◎生産現場でできる対策は、畑に持ち込まないこと

- ・健全な苗の確保が基本です。発生がない産地など入手先に注意し、来歴の分かる苗を確保しましょう。
- ・発生が疑われる畑と農機具を使いまわさないなど汚染土を持ち込まないようにしましょう。

◎もし、発生してしまったら、②と③のまん延防止対策が早期に必要なになるので、**疑われる時は普及センターにご連絡ください。**



▲このような症状があったら、普及センターにご連絡ください

写真出展：生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業（01020C）および戦略的スマート農業技術等の開発・改良（SA2-102N）令和4年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」

## 新規就農者向け！ つくば地域農業学園開催中！

当普及センターでは、新規就農者向けに栽培技術や経営改善を学べる「つくば地域農業学園」を開催しています。

現在、第4回以降の参加者を募集しています。興味のある方はお問い合わせください。  
※ 広域では、土浦地域、稲敷地域の農業者も参加します。▼第1回（左）及び第2回（右）の様子



### 令和8年度開催内容

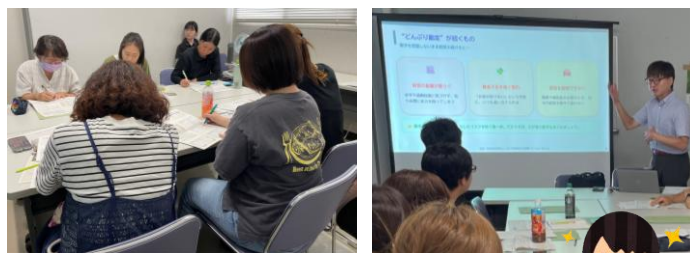
|             |                                                                                    |    |        |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|
| 第1回         | 病虫害防除                                                                              | 終了 | 7月8日   |
| 第2回         | 土壌肥料                                                                               | 終了 | 7月15日  |
| 第3回         | 農業経営<br>“はじめの一步”<br>～5年後も農業を続けるために～                                                | 終了 | 7月22日  |
| 第4回         | 【広域】<br>買う前に、考えること<br>～投資判断と未来の損益を数字でつかむ～                                          |    | 11月10日 |
| 第5回         | 水稻基礎                                                                               |    | 2月     |
| その他<br>【広域】 | 上記のほか、7月に「雑草対策講座」を実施、11月24日に「農作業安全講座」、1月に「県南地域プロジェクト発表会」等を開催予定です。広域講座の案内は、別途通知します。 |    |        |

## 女性農業者さん、集合！ 農村女性大学を開催します

当普及センターでは、管内の女性農業者の更なる活躍を支援するため、女性農業に向けた栽培技術や経営管理に関する講座を開催しています。

7月には第1回目として農業経営の講座を開催し、6名の女性農業者に参加いただきました。農業に詳しい中小企業診断士を講師にお迎えし、決算書を活用した経営の分析方法、資金繰り表の重要性等について学びました。受講生からは「分かりやすかった」、「今後の取組のきっかけになった」、「資金繰り表を作ろうと思う」等の意見をいただきました。

次回は、農業経営の講座第2回目を11月に開催、第3回目は水稻栽培に関する講座を2月に開催予定です。興味のある方はお問い合わせください。



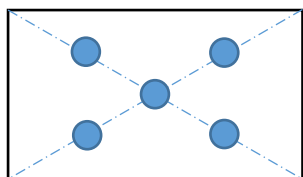
▲第1回目農業経営講座の様子



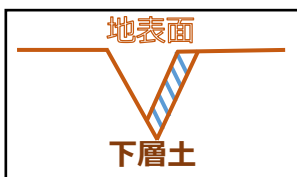
## 土壌診断受付中！

毎月1回、土壌診断を実施しています。

作物を作るための事前準備として、土づくりの見直しや土壌養分の状態を確認したい方はご利用ください。



▶図1 ほ場の青点部分から採土



▶図2 青斜線部分から採土

持込期限：毎月18日前後（毎月月末測定）  
（詳細な期限は普及センターにお問合わせください。）

持込点数：1人5点まで

採土方法：ほ場の対角線上から5か所採土し、混和してください（図1）。また採土の際には、表土を軽く取り除いた後、作土層（深さ15～20cm）にV字型溝を設け、側面にそって採土してください（図2）。湯のみ茶碗約1杯分（約500g）の土を乾燥、ふるいをかけた状態でお持ち込みください。

測定項目：pH（土壌酸度）、EC、硝酸態窒素、可給態リン酸、交換性塩基類

ミスは防げなくても、事故は防げます。

農林水産省作成  
農作業安全に関する動画

